



音楽鑑賞会「琉球フィルハーモニック楽団」 ～楽器の勉強もいっぱいして、楽しかったよ！～

11 月 22 日 (金) は、文化的行事として、「音楽鑑賞会」が開かれました。琉球フィルハーモニック楽団をお招きして、オーケストラについて、また楽器について学びました。

オープニングは、運動会のかけっこ等の BGM でよく使われる「道化師のギャロップ」、軽快な曲に子ども達もノリノリ。2 曲目は「鍛冶屋のポルカ」。鍛冶屋の様子を、タイヤのホイールをハンマーで打つことで表現するのですが、それを知念繁治先生と照屋謙二先生が挑戦。見事な演奏に大きな拍手が起きました。次は、楽器の紹介です。はじめは弦楽器。「ていんさぐの花」の曲を、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスの順に弾くことで、楽器が大きくなるにつれ音が低くなるのが分かりました。次は、木管楽器です。オーボエ、クラリネット、フルート、ファゴットの楽器が紹介され、「いつでも何度でも (千と千尋の神隠し)」が演奏されました。3 番目は金管楽器。トランペット、トロンボーン、ホルン、チューバが「夢を叶えてドラえもん」を演奏すると、みんなも思わず口ずさみ、大合唱になりました。「ビリーブ」もオーケストラの演奏に合わせ、全児童で歌いました。その他にも、比嘉俊太さん (2 年生)、千代田康寛さん (4 年生)、前田梨理香さん (6 年生) の 3 人が指揮者に挑戦。3 人の振るタクトに合わせ、オーケストラの方々が演奏して下さり、指揮の難しさも体験していました。

オーケストラを構成する楽器について学んだり、指揮に合わせての「強弱」の手拍子で演奏に参加したりと、あっという間の 70 分でした。楽しい、そして大満足の鑑賞会でした。



オーケストラ演奏



繁治先生の挑戦



木管楽器の紹介



指揮者体験

古蔵中学校グループ授業研究会(古蔵小)

～国語・道徳・学級活動・特別支援教育で提案授業～

11 月 20 日 (水) は、城岳小、古蔵小、古蔵中学校の 3 校合同で授業研究会がありました。3 校の先生方がそれぞれ 4 つのグループに分かれ授業参観し、その後の研究会では小中の先生方が授業について意見を交わしました。道徳部会では、登場人物の考え方がイメージしやすい「構造的な板書」の提案があり、指導助言では「道徳的価値」について子ども達が「深く学ぶ」ためには、ねらいをより具体的に考えることが大切だとありました。活かしていきます。



国語部会



特別活動部会



道徳部会



特別支援部会